

大分県立美術館

和 の 心

コレクション展 VI

Spirit of Japanese culture



1

2018年2月9日〈金〉－4月10日〈火〉

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

前期 2月9日〈金〉－3月6日〈火〉

後期 3月8日〈木〉－4月10日〈火〉

○2018年3月7日(水)は展示替えのため休展

開館時間 10:00～19:00 ○金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

観覧料 一般 / 300(250)円 大学生・高校生 / 200(150)円

中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金

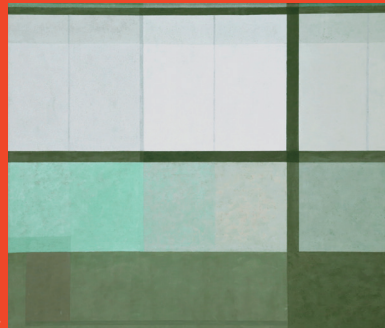
※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入館の際、学生証をご提示ください

お問い合わせ 大分県立美術館 Tel:097-533-4500

- 1.古澤万千子《毬子いろは紋着物》1993年 / 前期展示
- 2.生野祥雲齋《白竹荒編まがき花入》1966年
株式会社大分銀行寄託 / 後期展示
- 3.正井和行《試作1》1956年



2



3



4

4.志村ふくみ《猩々菱》1994年 / 後期展示 5.宇治山哲平《やまごころ》1985年
6.河井寛次郎《小鹿田焼 茶碗》1954年 7.福田平八郎《牡蠣と明太子》1953年
8.吉原真龍《美人図》(部分)江戸時代(19世紀) / 前期展示



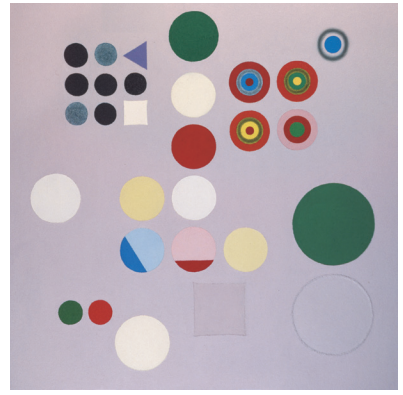
6



7

和の心

Spirit of Japanese culture



5



8

普段の生活の中では、つい見過ごされがちな和風の魅力。
2013年には、天然の食材や四季折々の季節感を大切にする和食が、世界無形文化遺産に登録されました。近年、とくに衣食住の生活全般にかかわる和の美や、その心が見直されています。
今回のコレクション展では、日本を代表する染織作家の古澤万千子や志村ふくみのあでやかな着物をはじめ、茶席で用いる竹花入や茶碗、さらには身近な食材を描いた絵画などをコレクションの中から厳選して紹介し、作品を通して和の美の魅力を迫ります。

おおいた温故知新
～大分の先人たちの知性と感性に学ぶ～ vol.2

別府竹細工の発展

おおいた
温故知新

大分の先人たちの
知性と感性に学ぶ

大分の工芸を代表する“竹工芸”のはじまりは、別府温泉の観光土産品であった別府竹細工です。1904(明治37)年、別府町立工業徒弟学校が設置され、竹藍科で竹工技術者の養成が始められました。以後、別府竹細工は別府温泉の発展とともに急成長しました。本展では、徒弟学校の教育や、そこで制作された作品を中心に、別府竹細工の発展について紹介します。



別府町立工業徒弟学校
《竹の家》1902～09年頃
大分県立大分工業高校同窓会(豊工会)寄託

開催中の企画展 | 会場 / 3階 展示室B

2018年2月9日(金)～3月11日(日)

歌心と絵ごころの交わり

二豊路 漂泊の画人 佐藤溪と俳人 種田山頭火

ギャラリートーク

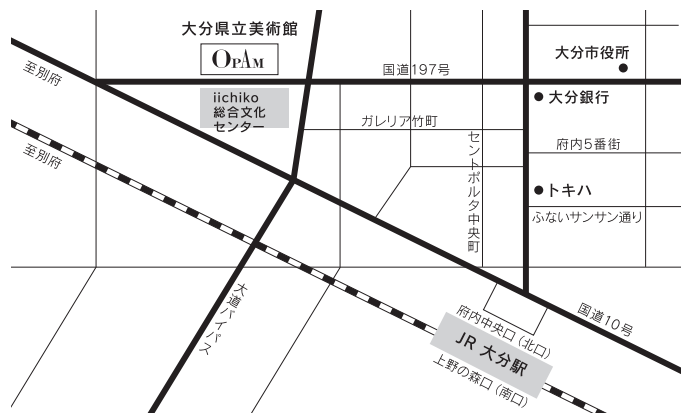
会場 / 3階 コレクション展示室

要覧観覧券 ※予約不要

2/11(日)・2/25(日)・3/11(日)・3/25(日)・4/8(日)

| 時間 | 14:00～15:00

2/23(金)・3/30(金) | 時間 | 17:00～18:00



〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分 / 大分ICから車で10分 <http://www.opam.jp>

beyond
2020

OpAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum